

令和元年度 「家庭教育に関する調査」

グラフでみる 秋田の家庭教育

子育てについて、次のように思うことはありますか？

我慢することが
たくさんある！

思う・やや思う
66%

わからないことが
たくさんある！

思う・やや思う
59%

楽しく子育てが
できる！

思う・やや思う
87%

生きがいをもって
子育てができる！

思う・やや思う
85%

※ 詳しくは2Pで！

このリーフレットは、秋田県教育委員会が令和元年度に実施した「家庭教育に関する調査」の集計結果について、平成24年度に実施した前回調査と比較しながら紹介するものです。

家庭を取り巻く環境の変化にともない指摘されるようになった家庭の教育力低下の現状、身近になったメディアやインターネット対策、父親の子育て参加といった現代的な課題も踏まえ、幼児期から思春期までの家庭教育の状況や保護者の意識や実態等について紹介しています。

秋田県教育委員会

1 調査の目的

家庭を取り巻く環境の変化にともない、家庭の教育力低下等が指摘される現状や、メディア対策、父親の子育て参加といった現代的課題も踏まえ、幼児期から思春期までの家庭教育の状況や、保護者の意識や実態を把握する。

2 調査時期

令和元年10月18日（金）から11月7日（木）まで

3 調査の対象および内容

県内の幼稚園・保育所及び認定こども園、小学校、中学校、高等学校の4歳、7歳、10歳、13歳、16歳にあたる幼児・児童・生徒の保護者に対して、家庭教育に関する意識・実態を調査した。

(1) 調査対象者内訳

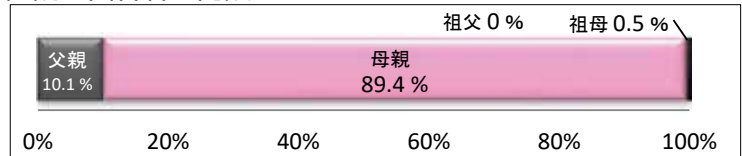
年齢	調査数	回答者数
4歳	195人	160人
7歳	209人	185人
10歳	200人	193人
13歳	176人	166人
16歳	210人	141人
計	990人	845人

※H24回答者数1,070人

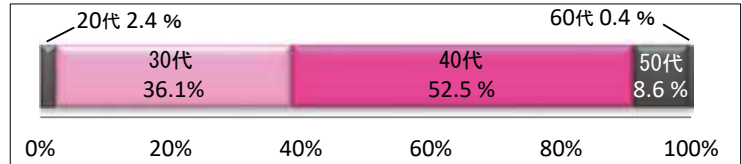
(2) 回答率

85.4%

(3) 調査回答者の内訳

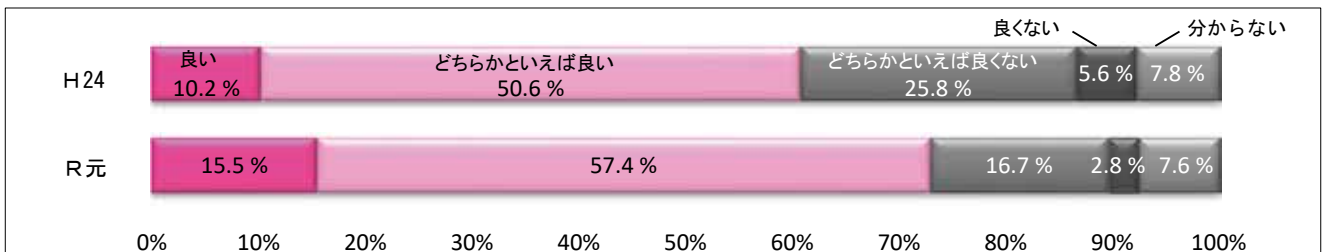


(4) 調査回答者の年齢



4 主な調査結果とコメント (pt = ポイント)

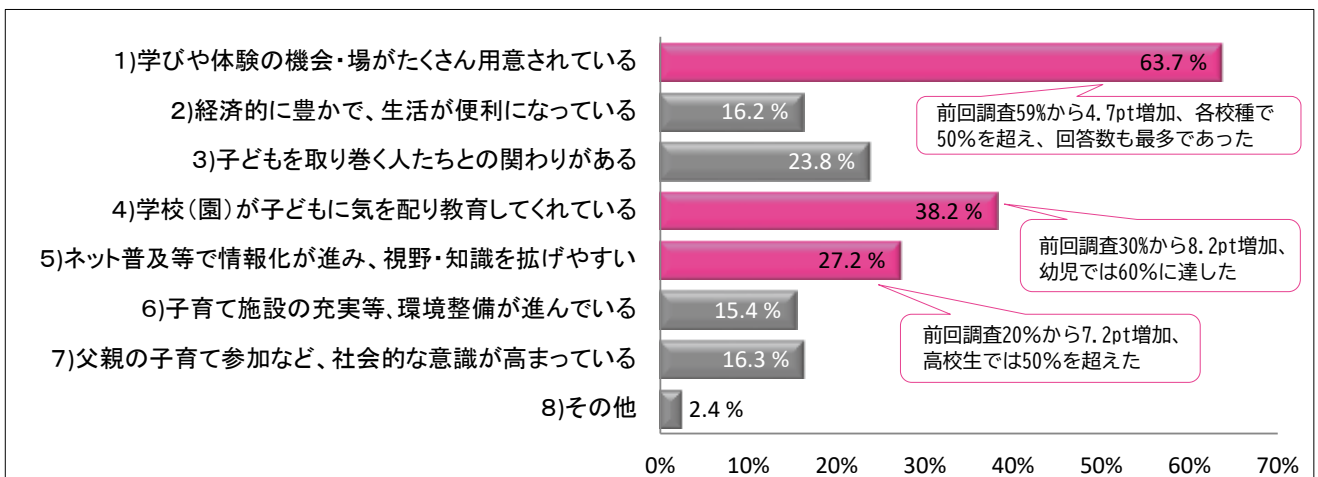
問1-1 あなたは現在の子どもを取り巻く環境について、総合的に見てどのように感じますか。



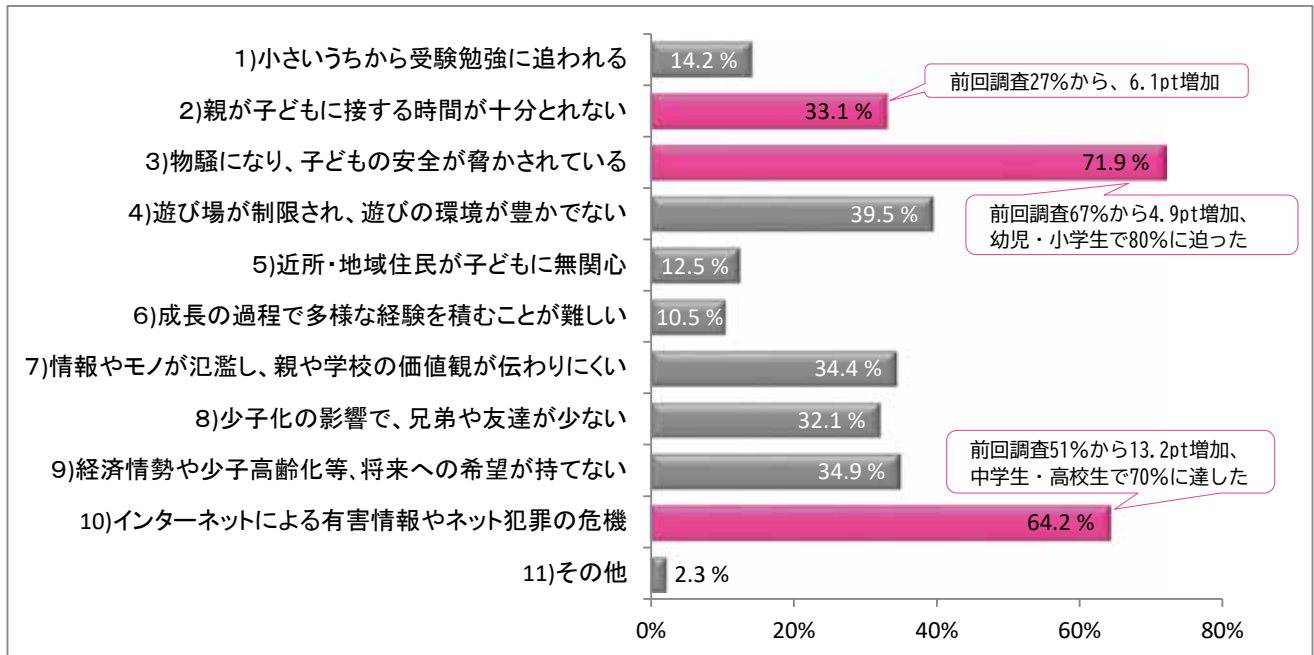
「良い」「どちらかといえば良い」と答えた割合 【H24】60.7% → 【R元】73.0%

★「子どもを取り巻く環境」を肯定的に捉える保護者が大幅に増加している。

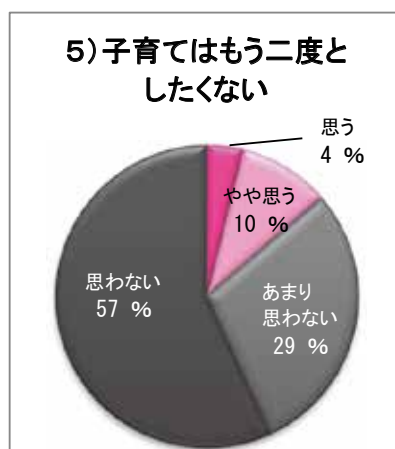
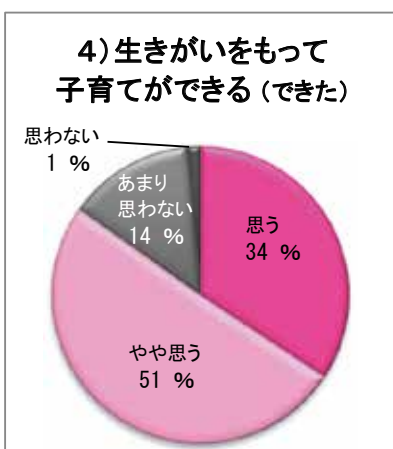
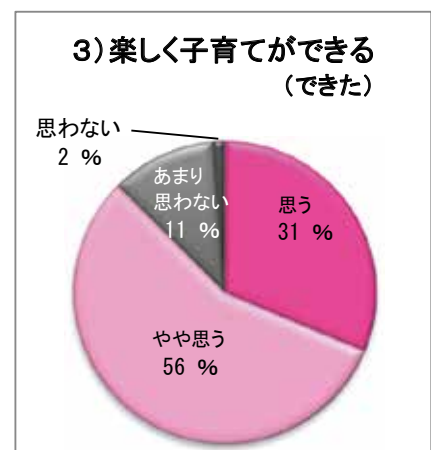
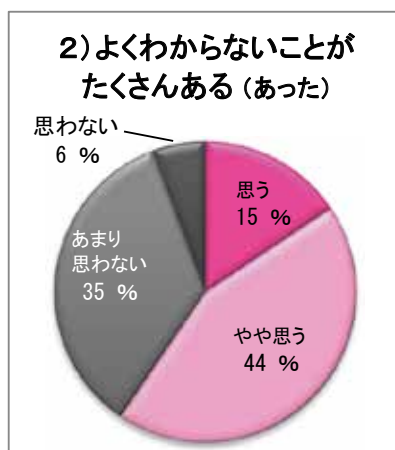
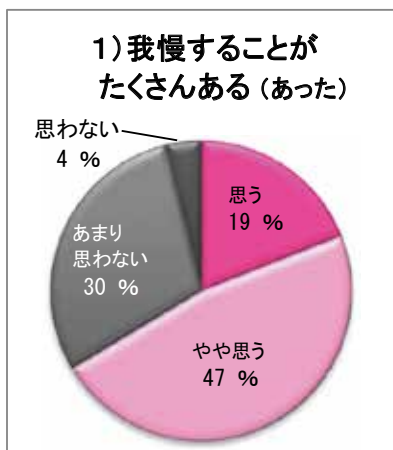
問1-2 子どもを取り巻く環境が「良い」理由（複数回答）



問1-3 子どもを取り巻く環境が「良くない」理由（複数回答）



問2 あなたご自身の子育てについて、次のように思うことはありますか（ありましたか）。



★「思う・やや思う」の割合に、大きな変化はなかった。

1)我慢することがある

【H24】60% → 【R元】66%

2)よくわからないことがたくさんある

【H24】58% → 【R元】59%

3)楽しく子育てができる

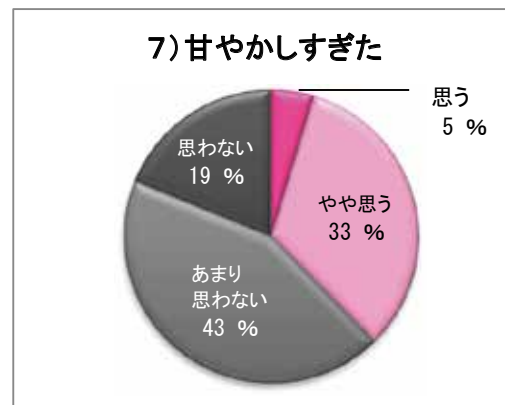
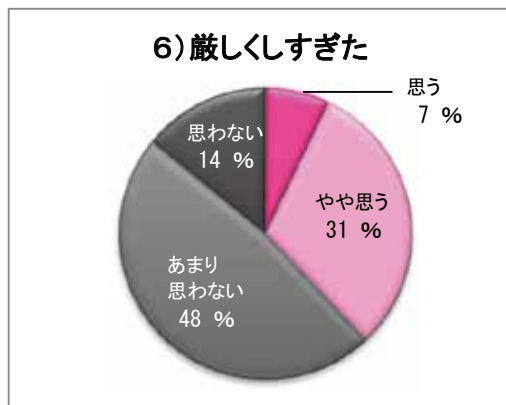
【H24】87% → 【R元】87%

4)生きがいをもって子育てができる

【H24】84% → 【R元】85%

5)子育てはもう二度としたくない

【H24】15% → 【R元】14%

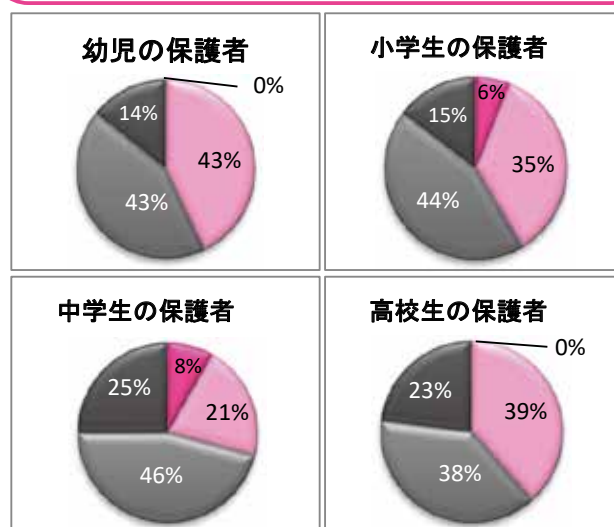
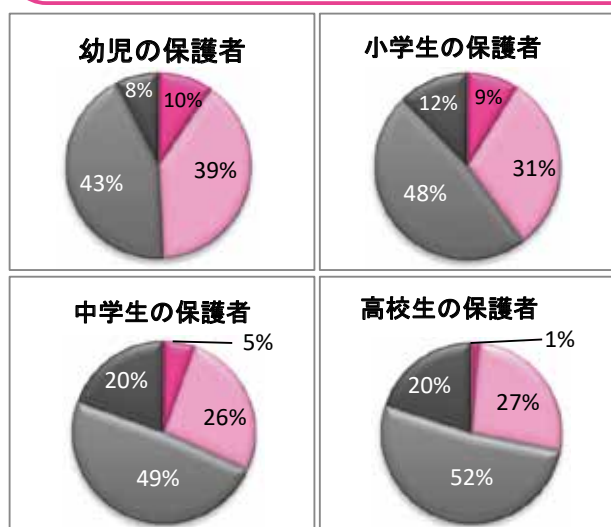


「6) 厳しくしすぎた」について・・・「思う」「やや思う」が増加
【H24】34% → 【R元】38%

★「厳しくしすぎた」と感じている保護者の割合は、幼児がもっとも高く、前回調査から5pt増加して49%となった。高校では変化なく28%であった。

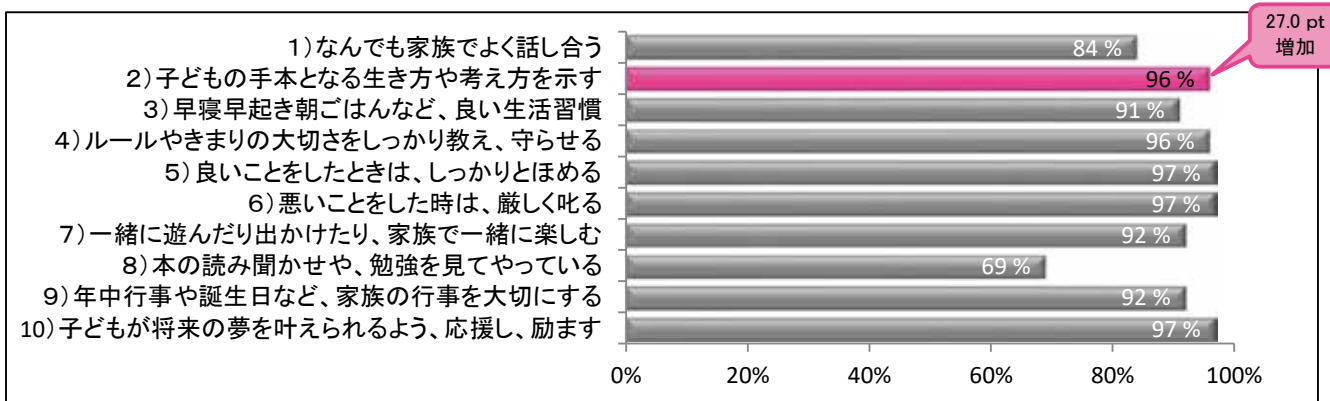
「7) 甘やかしすぎた」について・・・「思う」「やや思う」が減少
【H24】44% → 【R元】38%

★「甘やかしすぎた」と感じている保護者の割合は、中学生で17pt減少して29%、高校生で8pt減少して39%となった。
★幼児43%・小学生41%は、大きく変化していない。



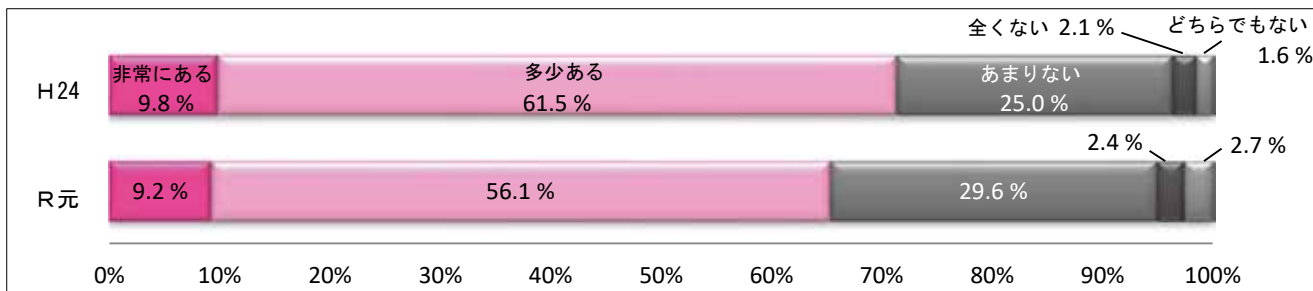
問3 あなたご自身の子育てについて、力を入れている（入れてきた）と思うことがありますか。

★「思う」「やや思う」と答えた保護者の割合



★前回調査と同様、どの項目も概ね高い割合で、自らが行っている（きた）子育てを肯定的に捉えている。
★多くの項目においてほぼ変化がなかった中で、「2) 子どもの手本となる生き方や考え方を示す」については、69%から27ptの増加が見られた。保護者の生き方・考え方を重視する傾向が見られる。

問4-1 あなたは家庭での教育（しつけ等）について、悩みや不安がありますか。

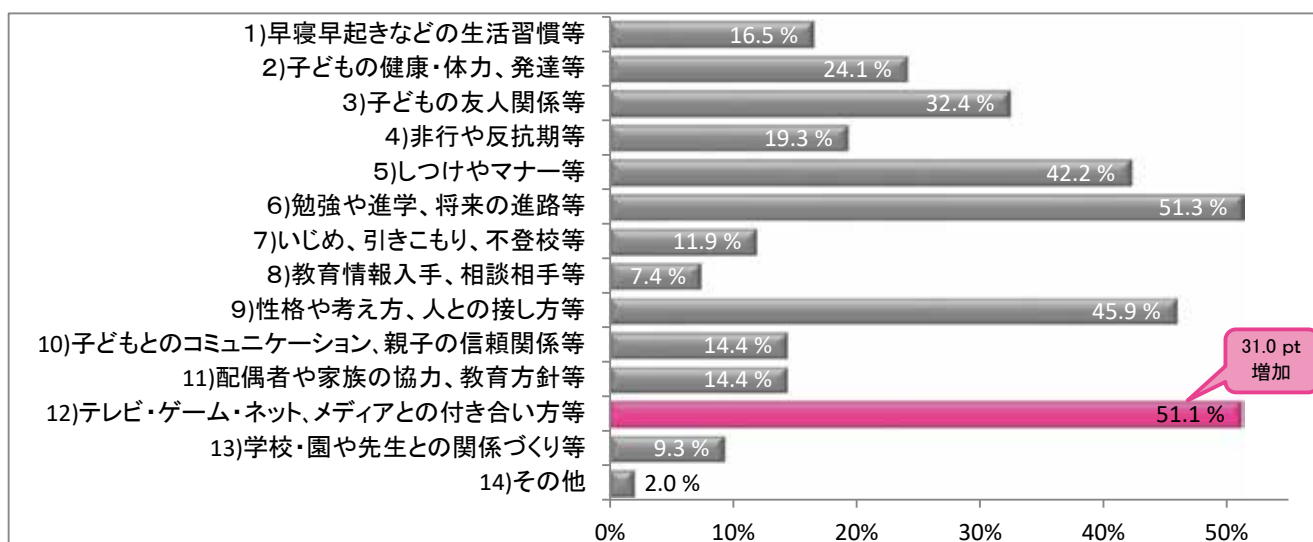


「非常にある」「多少ある」と回答した保護者

【H24】71.3% → 【R元】65.3%

★減少してはいるが、前回調査同様、多くの保護者が悩みや不安を抱えていることが分かる。

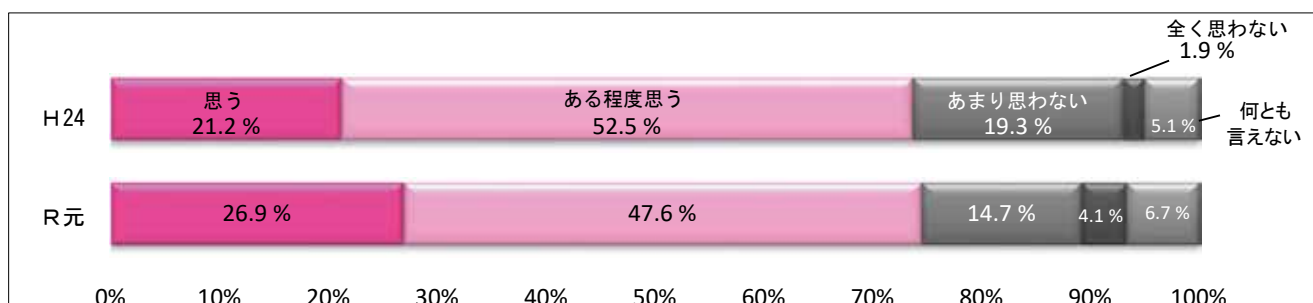
問4-2 どのような悩みや不安がありますか(複数回答)



★「12) テレビ・ゲーム・ネット、メディアとの付き合い方等」に悩みや不安がある保護者が、前回調査の20.1%から31.0pt増加して51.1%に達した。

★その他の項目には、ほとんど変化が見られない。

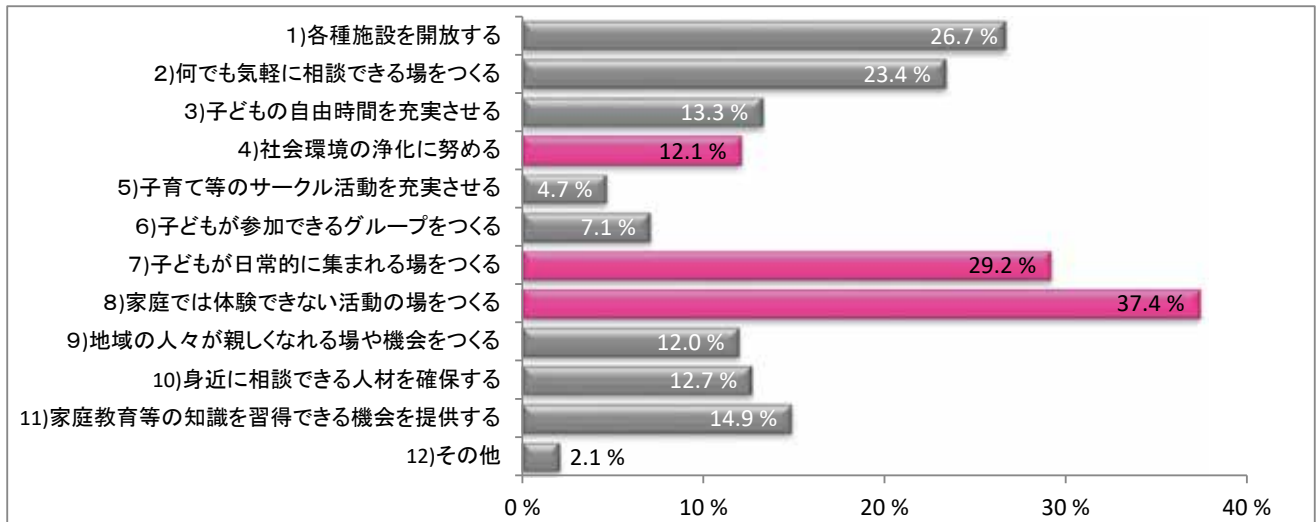
問5-1 家庭教育について行政の支援は必要だと思いますか。



★「思う」「ある程度思う」と答えた保護者の割合はほぼ変わらないが、「思う」と答えた保護者の割合は5.7pt増加していて、行政の支援を強く望む傾向が高まっている。

★「思う」「ある程度思う」の回答が唯一減少したのは、幼児の保護者で、前回調査の88%から8pt減少し、80%であった。

問5-2 家庭教育にどのような支援が必要だと思いますか。(複数回答)



「家庭教育にどのような支援が必要か」

★前回調査から変化が目立った項目は次のとおり。

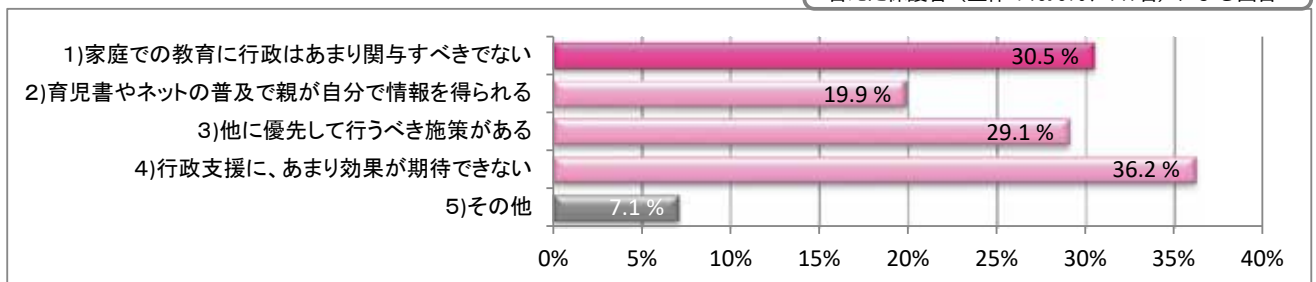
「4」社会環境の浄化に努める	3.7pt減少	【H24】15.8%	→【R元】12.1%
「7」子どもが日常的に集まれる場をつくる	3.5pt増加	【H24】25.7%	→【R元】29.2%
「8」家庭では体験できない活動の場をつくる	4.0pt増加	【H24】33.4%	→【R元】37.4%

★校種別で、前回調査から変化が目立った項目は次のとおり。

幼児「5」子育て等のサークル活動を充実させる	5.2pt増加	【H24】5.4%	→【R元】10.6%
小学生「2」何でも気軽に相談できる場をつくる	5.7pt増加	【H24】20.8%	→【R元】26.5%
中学生「1」各種施設を開放する	4.8pt増加	【H24】19.3%	→【R元】24.1%
高校生「5」子育て等のサークル活動を充実させる	3.9pt減少	【H24】7.4%	→【R元】3.5%

問5-3 家庭教育に支援が必要ないと思う理由(複数回答)

問5-1で「あまり思わない」「全く思わない」と答えた保護者(全体の18.8%、141名)による回答



「家庭教育について支援が必要ないと思う理由」について

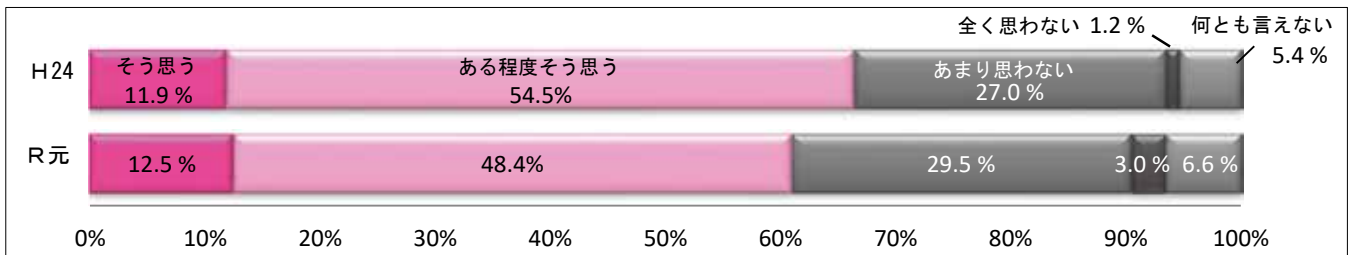
★前回調査より変化が目立った項目は次のとおり。

「2」育児書やネットの普及で親が自分で情報を得られる	8.4pt増加	【H24】11.5%	→【R元】19.9%
「3」他に優先すべき施策がある	6.8pt減少	【H24】35.9%	→【R元】29.1%
「4」行政支援に、あまり効果が期待できない	7.0pt減少	【H24】43.2%	→【R元】36.2%

★「1」家庭での教育に行政はあまり関与すべきでない」は、校種によって変化が分かれた。

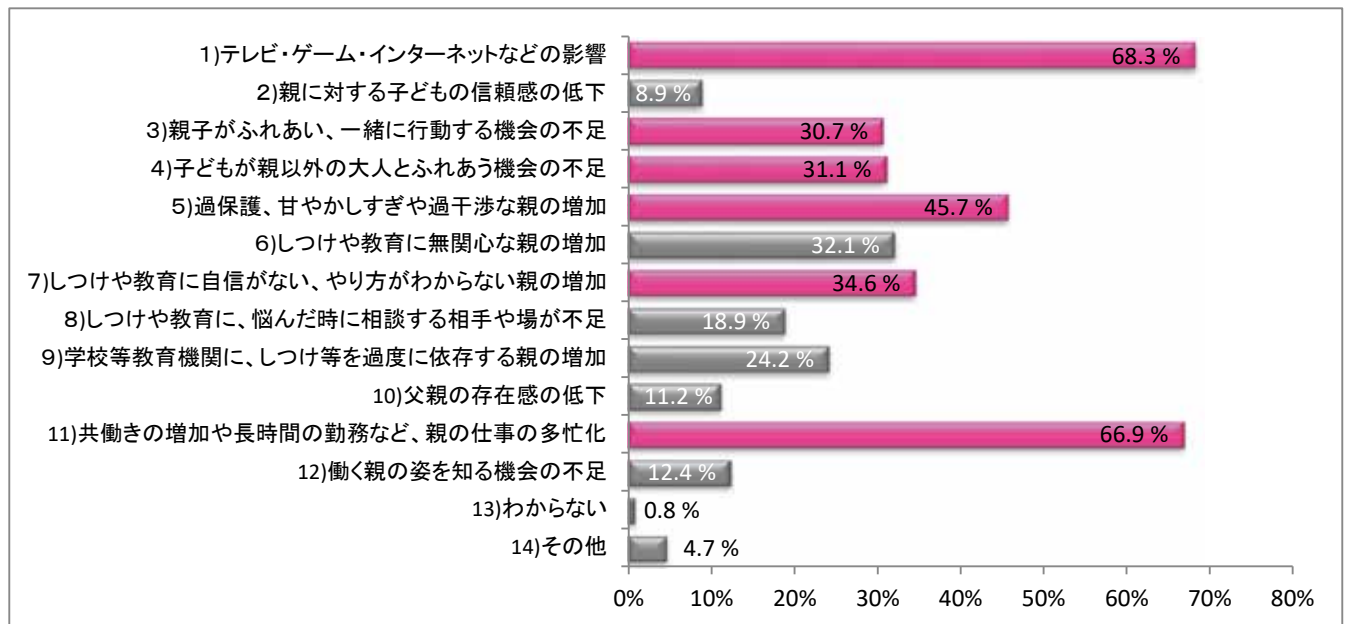
幼児	15.0pt増加	【H24】20.0%	→【R元】35.0%
小学生	0.7pt減少	【H24】31.9%	→【R元】31.2%
中学生	13.8pt減少	【H24】35.7%	→【R元】21.9%
高校生	18.9pt増加	【H24】17.1%	→【R元】36.0%

問6-1 「家庭の教育力が低下しているのではないか」という意見を、あなたはどのように思いますか。



★「そう思う」・「ある程度そう思う」と答えた保護者が、前回調査の66.4%から5.4pt減少して61.0%であった。校種別でみると、幼児の保護者の回答が特に顕著であり、64.2%から52.9%へ11.3pt減少している。

問6-2 家庭教育力低下の理由(複数回答)



★前回調査から大きく増加した項目は次のとおり。

「1) テレビ・ゲーム・インターネットなどの影響」	32.8 pt 増加	【H24】 35.5%	→ 【R元】 68.3%
「11) 共働き増加・長時間勤務等、親の仕事の多忙化」	30.7 pt 増加	【H24】 36.2%	→ 【R元】 66.9%
「7) 自信がない、やり方がわからない親の増加」	13.3 pt 増加	【H24】 21.3%	→ 【R元】 34.6%
「4) 子どもが親以外の大人とふれあう機会の不足」	13.2 pt 増加	【H24】 17.9%	→ 【R元】 31.1%
「5) 過保護、甘やかし、過干渉な親の増加」	12.2 pt 増加	【H24】 33.5%	→ 【R元】 45.7%
「3) 親子がふれあい、一緒に行動する機会の不足」	10.5 pt 増加	【H24】 20.2%	→ 【R元】 30.7%

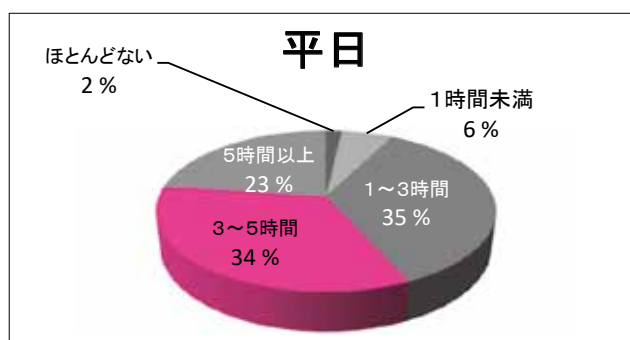
問7 あなたは家庭教育に関して、次の各項目に関する情報について、どこから(誰から)得ていますか。

★主な情報入手先

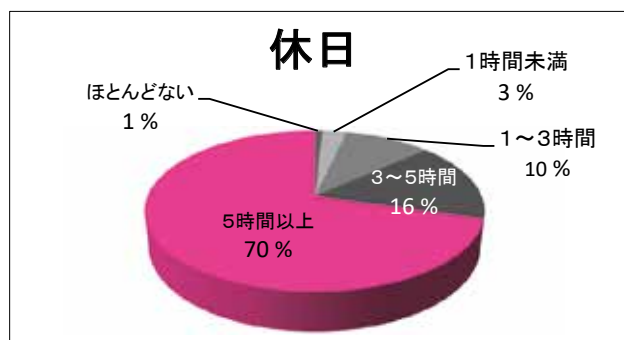
■「生活習慣」「挨拶・しつけ・マナー」...	祖父母・親族／夫や妻から
■「各種行政サービス」「遊び場・子育て施設等」...	友人・知人／広報紙・回覧板／インターネットから
■「相談窓口・サークル」「講座等学習機会」「親子参加イベント」...	広報紙・回覧板／学校(園)・教職員・PTAから
■「勉強・進学」「健康・体力・医療」...	学校(園)・教職員・PTA／友人・知人から
■「子どもとのコミュニケーション」...	友人・知人／夫や妻から

★「学校(園)・教職員・PTA」と「インターネット」が、全ての項目において、前回調査から大きく増加している。インターネットが身近な道具となってきたこと、学校(園)が情報発信としての役割を高めていることが分かる。

問8 子どもと一緒に過ごす時間はどれくらいですか。



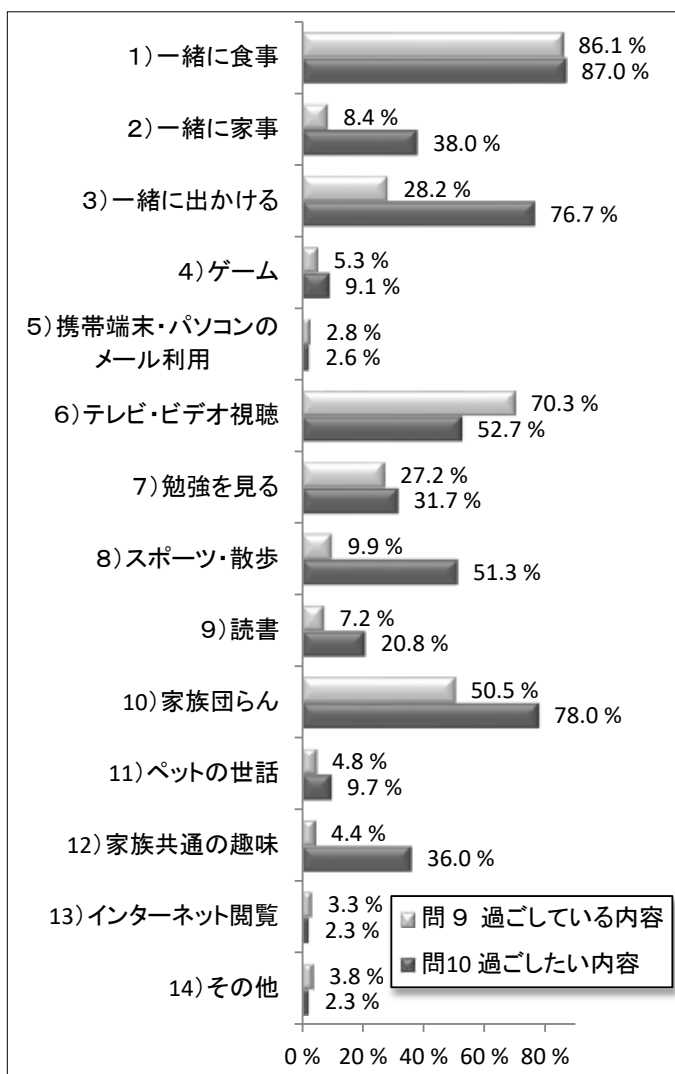
★「3～5時間」の割合がわずかながら増加して、それ以外の項目が少しずつ減少している。
★校種別では、「5時間以上」が幼児50.0%に対し、高校生4.4%と違いが顕著であった。



★「5時間以上」の割合がわずかながら増加して、それ以外の項目が少しずつ減少している。
★校種別では、「5時間以上」が幼児94.1%に対し、高校生32.0%と、違いが顕著であった。

問9 平日、子どもと一緒に過ごしている内容は主にどのようなことですか。（3つまで）

問10 子どもとのコミュニケーションのため、一緒に過ごしたい内容はどのようなことですか。（複数回答）



子どもとの過ごし方について…

「過ごしている内容」と「過ごしたい内容」を比較。
各項目の傾向は、前回調査とほぼ変わらなかった。

★「過ごしている内容」<「過ごしたい内容」

- 2)一緒に家事 8.4% < 38.0%
- 3)一緒に出かける 28.2% < 76.7%
- 8)スポーツ・散歩 9.9% < 51.3%
- 10)家族団らん 50.5% < 78.0%
- 12)共通の趣味 4.4% < 36.0%

※子どもと様々なことを通してコミュニケーションを図りたいという保護者の思いとは異なり、実際にはなかなかできていない様子が見える。

★「過ごしている内容」>「過ごしたい内容」

- 6)テレビ・ビデオ視聴 70.3% > 52.7%

※テレビ・ビデオの視聴は実際よりも控えたいという保護者の思いが見える。

★「過ごしている内容」「過ごしたい内容」いずれも高い

- 1)一緒に食事 86.1% ÷ 87.0%

※多くの家庭で、普段から子どもと一緒に食事をとることができていて、これからも、そうありたいと思っていることが分かる。

★校種による差が顕著だった項目

（過ごしている内容／過ごしたい内容）

- 6)テレビ・ビデオ視聴 幼 児 62.7% / 44.6%
高校生 78.5% / 62.8%
- 7)勉強を見る 小学生 43.1% / 45.6%
高校生 11.1% / 9.5%
- 8)スポーツ・散歩 幼 児 9.5% / 61.1%
高校生 6.7% / 34.3%
- 9)読書 幼 児 29.1% / 48.4%
高校生 0% / 2.2%

発行／秋田県教育委員会

問い合わせ先／秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田県秋田市山王中島町1-1 TEL 018-865-1171 FAX 018-824-1799

E-mail sgcen002@mail2.pref.akita.jp URL <https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/>

令和2年3月発行